

4. 保全配慮地区における保全等の方針

大阪市では、数少ない自然のみどりを保全するため、神社・仏閣などの民有地と都市公園などの公共空間が一体となって「一団のみどり」を形成している4つの地区（「夕陽丘・生玉地区」「天王寺地区」「杭全地区」「聖天山地区」）を保全配慮地区として設定しています。これらの地区において、持続的なみどりの保全を推進するために、「保全配慮地区における保全等の方針」を設定します。



■保全配慮地区の位置図



■夕陽丘・生玉及び天王寺地区の概略位置図



■杭全地区の概略位置図



■聖天山地区の概略位置図

（1）各地区の概況

1) 夕陽丘・生玉地区の概況

地区的概要

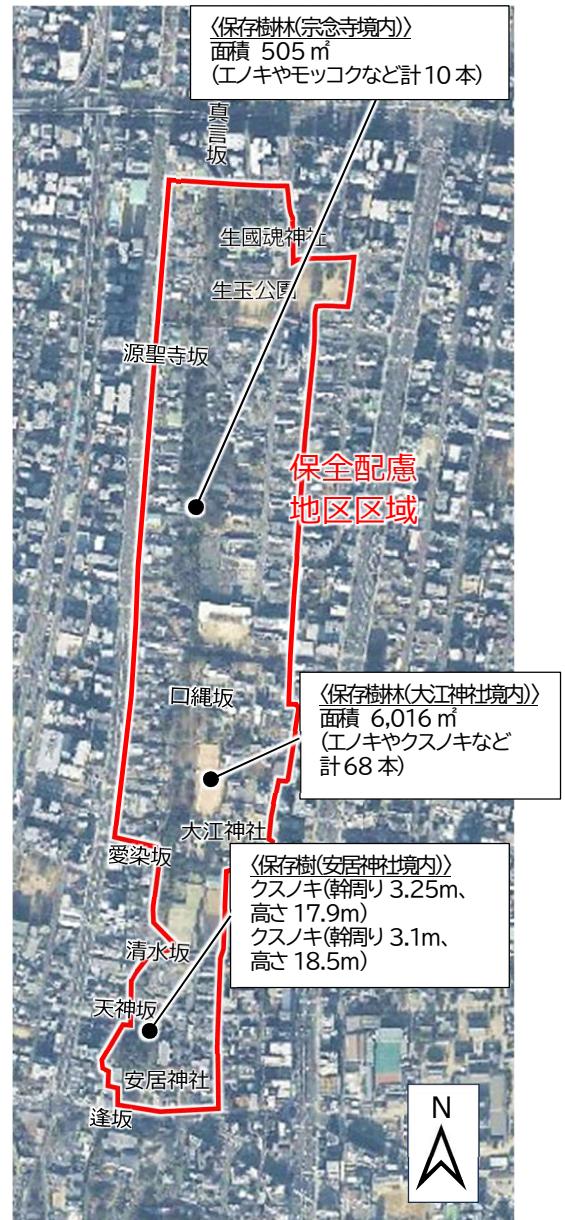
本地区は上町台地の中央西端部に位置し、生玉公園のみどりをはじめ、生國魂神社や大江神社などのみどりが南北に連なり、まとまったみどりが形成されています。地区内を東西に走る道路は「天王寺七坂」と呼ばれる坂道となっており、多くの神社・仏閣とともに、歴史的な景観を形成しています。

地区内の主な土地利用は、神社・仏閣、学校など複数の文教施設から構成されています。地区周辺では、商業施設、業務施設、宅地などが混在しており、四天王寺や一心寺といった大規模な寺社が立地する地区となっています。

なお、本地区は全域が大阪市都市計画風致地区（夕陽丘風致地区）や大阪市景観計画で定める基本届出区域等に属しています。

みどりの現況

地区内を南北に縦断する上町台地の斜面地に豊かなみどりが残っており、地区内の緑被率は概ね 30%程度を維持しています。生玉公園は、斜面地を活かした施設配置が特徴的で、台地地形の起伏を感じることができます。また、保存樹や保存樹林のある大江神社や安居神社、宗念寺など、地区内に多数存在する神社・仏閣のみどりは敷地外からも感じられ、みどり豊かな風致を形成しています。



■夕陽丘・生玉地区の航空写真



■上町台地の斜面



■生玉公園



■大江神社

2) 天王寺地区の概況

地区の概要

地区の大部分は動植物公園である天王寺公園が占めており、北側には一心寺、東側には堀越神社などの寺社が存在しています。上町台地の西端部に位置し、斜面の上部は慶沢園や茶臼山、一心寺など、斜面の下部は天王寺動物園の区域となっています。

地区内の土地利用は、大部分を占める公園緑地と、一心寺や統国寺、堀越神社といった文教施設が主体となっています。

なお、本地区は全域が大阪市都市計画風致地区（茶臼山風致地区）や大阪市景観計画で定める基本届出区域等に属しています。



■天王寺地区の航空写真

みどりの現況

上町台地の斜面上にある天王寺公園東側では、豊かなみどりが残っており、地区内の緑被率は概ね50%程度で推移しています。

地区内の北東部に位置する茶臼山には、気軽に散策することができる園路が整備されています。また、河底池周辺は、まちなかで水辺を身近に感じることができる貴重な水辺空間となっています。地区の南側には、大阪市指定文化財の日本庭園である慶沢園があり、2024（令和6）年に隣接した美術館との一体性の向上や、文化財庭園としての魅力向上を図るために改修が行われました。また、ターミナル駅前に芝生広場が広がるてんしばは、飲食物販などの公園施設と合わせて市内外の多くの利用者でにぎわっています。



■茶臼山の園路



■河底池



■慶沢園

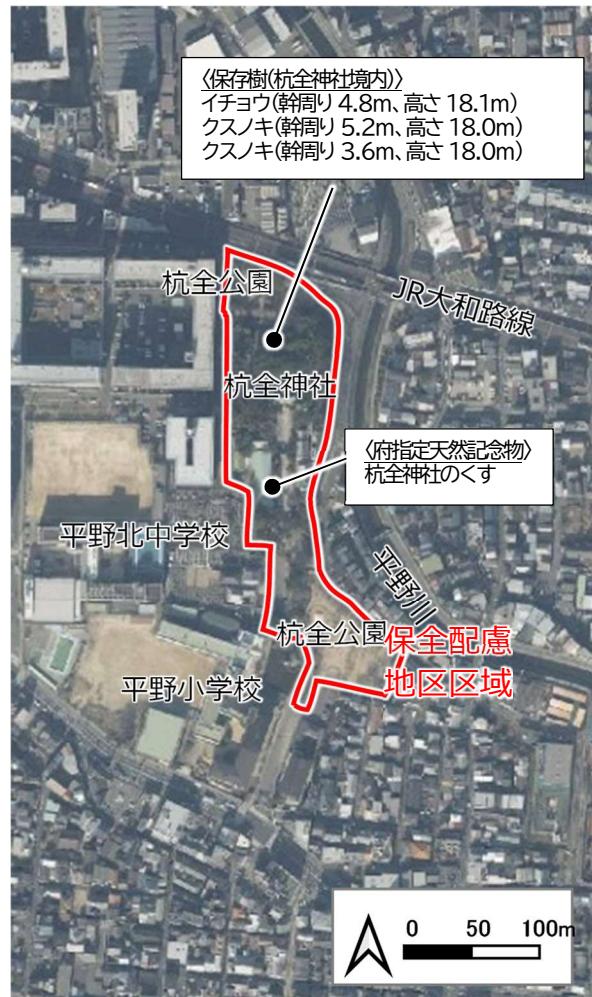
3) 杭全地区の概況

地区の概要

地区内には地区公園である杭全公園や杭全神社境内等の緑地が存在し、まちなかに残された貴重なみどりとなっています。

地区内の土地利用は南側が公園緑地、北側が神社・仏閣となっています。地区の周辺は、西側に隣接する位置に集合住宅や学校等が存在していますが、基本的には戸建て住宅地となっています。また、北側にはJR大和路線が通っており、北西側に平野駅があります。

なお、本地区はほぼ全域が大阪市都市計画風致地区（杭全風致地区）に、全域が大阪市景観計画で定める基本届出区域に属しています。



■杭全地区の航空写真

みどりの現況

杭全公園の北側は、周囲が樹木で囲まれており、豊かなみどりを感じることができます。公園の南側は北側よりも開放的な広場空間となっています。

杭全神社の境内には、本殿を囲むように大木が存在し、府の天然記念物として指定されているクスノキや、市指定の保存樹などがあります。なお、地区内の緑被率は概ね70%程度を維持しています。



■杭全公園(北側)



■杭全公園(南側)



■杭全神社境内

また、杭全公園では、地域住民による草刈りや清掃活動が実施されており、地域の方々に身近なみどりとして親しまれています。



■杭全公園での地域活動の様子

4) 聖天山地区の概況

地区の概況

地区内は聖天山古墳を含む聖天山公園と正圓寺により、一団のみどりが形成されています。聖天山公園の中央部には、シンボル的なクスノキの大木が存在しています。

地区内の土地利用は、公園緑地と神社・仏閣で構成されています。地区の周辺には、東側に隣接して中学校があり、その他は主に戸建て住宅地となっています。

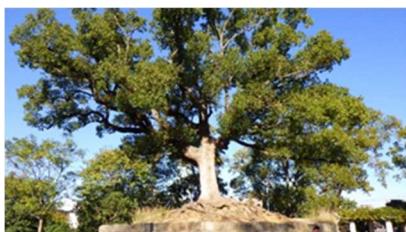
なお、本地区は全域が大阪市都市計画風致地区（聖天山風致地区）や大阪市景観計画で定める基本届出区域等に属しています。



■聖天山地区の航空写真

みどりの現況

聖天山公園の中央に存在する聖天山古墳には大きなクスノキが存在し、公園のシンボルとなっています。公園の広場には、休憩施設や遊具があり、地域住民の憩いやにぎわいの場となっています。また、正圓寺境内では、本殿を取り囲むように大きな樹木が見られます。地区内の緑被率は概ね 70%を維持しています。



■聖天山古墳



■聖天山公園の広場



■正圓寺境内

5) 維持管理の現状

各地区におけるみどりの維持管理について、主要なステークホルダーの一つである神社・仏閣を対象にヒアリング調査を行ったところ、以下のような現状が明らかとなりました。

- ・各地区のステークホルダーのひとつである神社・仏閣にとって、緑は貴重な地域資源として捉えられている一方で、近年では樹木の大木化・老朽化が進行し、台風による倒木なども発生していることから、緑の保全を取り巻く状況は必ずしも安定的とは言えない状況にあります。
- ・神社・仏閣としては、樹木管理に要する費用や人員の不足など頭在化する課題があることから、管理者自身のみで緑を保全し続けることに難しさを感じられています。
- ・特別緑地保全地区など、規制等による保全ではなく、現状の利用・活動と保全の両立を図ることを望まれています。

(2) 保全に向けた方針

以上より、課題を整理し、それに対応する方針を以下の通り設定します。

課題① 自然災害など、緑を取り巻く状況は必ずしも安定的ではない。

■方針①:継続的な緑の現状把握

緑の現状や保全の取組などについて、継続的なモニタリングを行う。

【取組例】 ・緑被率等の定期的な調査 ・土地所有者(神社・仏閣など)との定期的な対話 など

課題② 都市の貴重な財産である緑の価値を十分に共有できていない。

■方針②:緑の情報・価値の共有と発信

各地区の特徴的な緑(保存樹など)に関する情報発信などを行い、希少性や価値をステークホルダーなどと共有することで、保全に向けた機運醸成を図る。

【取組例】 ・本市ポータルサイト([みどりの都市・大阪 ONLINE](#))での情報発信 など

課題③ 土地所有者(神社・仏閣など)としては、自身のみで緑を保全し続けることに難しさを感じている。

■方針③:多様なステークホルダーによる支援

地域住民や周辺企業など、多様なステークホルダーが様々な形での支援を行い、持続的な保全につなげていく。

【取組例】 ・ボランティアやエリアマネジメント活動などによる参画
・寄付等を活用した補助制度の充実 など

なお、方針③については、地区によってステークホルダーなどが異なることから、地区ごとに個別方針を設定します。

1) 個別方針【夕陽丘・生玉地区】

【想定される主なステークホルダー】

- 緑の所有者・管理者:神社・仏閣、行政(市)、学校
- 周辺地域:地域企業・店舗、学校

【夕陽丘・生玉地区の個別方針】

神社・仏閣・企業・学校等の多様な主体による参画・支援

複数の文教施設が存在し、周辺には商業施設、業務施設、住宅地などが混在していることから、神社・仏閣、地域企業・店舗、学校などといった多様なステークホルダーによる参画・支援をめざします。

【取組のアイデア例】

- 文教施設や地域企業・店舗等による保全への参画(清掃、寄付など)
- 利活用(まちあるきなど)を通じた普及啓発

2) 個別方針【天王寺地区】

【想定される主なステークホルダー】

- 緑の所有者・管理者:神社・仏閣、行政(市)
- 周辺地域:地区内外の企業、周辺の店舗、来訪者(観光客など)

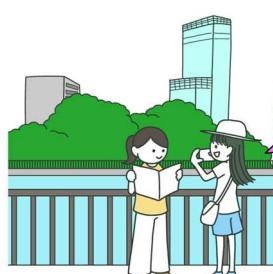
【天王寺地区の個別方針】

住む・働く・訪れる人による様々な関わり方の促進

来訪者でにぎわう公園や神社などの文教施設が存在し、周辺には商業・業務施設が多数存在することから、周辺に住む人だけでなく、ワーカーや観光客なども主体となり、それぞれができる形で支援を行うような保全のあり方をめざします。

【取組のアイデア例】

- エリアマネジメントの観点等による保全への参画(清掃、寄付など)
- 来訪者も含めた個人レベルでの情報発信(SNSによるみどりの発信など)



3) 個別方針【杭全地区】

【想定される主なステークホルダー】

- **緑の所有者・管理者**: 神社・仏閣、行政(市)
- **周辺地域**: 市民ボランティア、地域住民、学校、店舗

【杭全地区の個別方針】

地域のコミュニティを中心とした保全の拡大・展開

主に住宅地で構成される周辺地域において、神社境内地の樹林地や公園のみどりは、まちなかに残る貴重なみどりとして親しまれていることから、地域のコミュニティを中心とした保全の拡大・展開をめざします。

【取組のアイデア例】

- 地域住民等による保全活動(清掃など)の継続・拡大
- 利活用(神社での行催事など)を通じた普及啓発

4) 個別方針【聖天山地区】

【想定される主なステークホルダー】

- **緑の所有者・管理者**: 神社・仏閣、行政(市)、学校
- **周辺地域**: 地域企業・店舗、学校

【聖天山地区の個別方針】

地域のシンボルとなる緑の保全・再生

主に住宅地で構成される周辺地域において、聖天山古墳のクスノキや正圓寺のサクラなどが、地域のシンボルとしてより一層親しまれるようなみどりの保全・創出をめざします。

【取組のアイデア例】

- 公園樹の健全な保全育成
- みどりの保全に対する支援策の検討(寄付の活用など)



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

卷末資料